

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 11111 研究機関名：××××大学 研究代表者名：文科 花子  
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）  
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22年度～23年度

内容・時期が一致するように記載してください。

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<p>&lt;当初計画&gt;</p> <p>H23.4 事前準備                      H23.5 ↓                      H23.6 ↓                      H23.7 ○○調査の実施                      H23.8 ↓                      H23.9 ↓                      H23.10 調査結果の分析                      H23.11 ↓                      H23.12 ↓                      H24.1 ↓                      H24.2 ↓                      H24.3 学会発表及び研究成果取りまとめ</p>	<p>&lt;変更後の計画&gt;</p> <p>H23.4 事前準備                      H23.5 ↓                      H23.6 ↓                      H23.7 ○○調査の実施                      H23.8 ↓                      H23.9 ↓                      H23.10 △△調査の実施                      H23.11 ↓                      H23.12 ↓                      H24.1 調査結果の分析                      H24.2 ↓                      H24.3 ↓                      H24.4 ↓                      H24.5 ↓                      H24.6 学会発表及び研究成果取りまとめ                      H24.7 ↓                      H24.8 ↓                      H24.9 ↓                      H24.10 ↓                      H24.11 ↓                      H24.12 ↓                      H25.1 ↓                      H25.2 ↓                      H25.3 ↓</p>	<p>(研究概要)</p> <p><b>※&lt;当初計画&gt;に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。</b></p> <p>平成24年2月までに、                      ○○調査を実施し、調査結果の分析を行い、                      平成24年3月までに、                      学会発表及び研究成果取りまとめを行う</p>	<p>事由</p> <p>記号等 ①エ 計画に関する諸条件（計画の変更）                      （その他の場合の事由：</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成23年9月</p>		<p>補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）</p>	
		<p>【変更後の計画の類型】 追加調査・実験等</p>	<p>（補足説明）*必要な場合</p>

【変更後の計画の類型】については、「繰越申請に当たっての留意事項」を参考に、繰越事由及び変更後の計画と対応するものを選択してください。

「(その他)」以外を選択している場合は、記入する必要はありません。

<変更後の計画>では、繰越事由の発生した時期、当初からの変更点を明確にしてください。

「完了時期」は一致します。

必要に応じて、簡潔に補足説明を記載してください。